

報道関係各位

2010年6月10日(木)

ショートショート実行委員会/ショートショート アジア実行委員会

ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2010  
話題賞は韓国版『花より男子』の人気女優ク・ヘソン監督、  
特別賞は初メガホンの沢村一樹監督が受賞

米国アカデミー賞公認、日本発・アジア最大級の国際短編映画祭「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア (SSFF & ASIA)」が、いよいよ6月10日(木)から20日(日)まで表参道ヒルズ スペースオーホかにて開催されますが、開催に先駆け2010年の話題賞および特別賞が決定し、映画祭のオープニングイベントにて授賞式が行われました。

話題賞は、日本のショートフィルムの発展・普及に貢献した団体・個人・作品に贈られる賞です。2003年より設置された賞で、昨年は『フィッシュ・ボーン』というショートフィルムを手がけた土屋アンナさんが受賞しています。それぞれ企画、出演、監督とショートフィルムに対するアプローチの方法は異なりますが、いずれもショートフィルムという映像ジャンルを世間に広めた方々が受賞してきました(詳細は次頁をご参照下さい)。

そして本年度の話題賞は、韓国版『花より男子』のクム・ジャンディ(牧野つくし)役として日本でも有名な韓国の人気女優、ク・ヘソンさんが受賞しました。ク・ヘソンさんが初メガホンを取った『愉快なお手伝い』は、当映画祭「アジアインターナショナル部門」の特別招待作品として上映されます。なお、話題賞のプレゼンターには、日本版『花より男子』の美作あきら役でもおなじみ、中国でも活躍する阿部力(あべつよし)さんが登壇しました。

さらに本年度は、メディア、映像業界において特別な貢献をされた方に贈る特別賞を設置。特別賞は、かねてより監督を熱望していたという沢村一樹さんが受賞しました。沢村さんの初メガホンとなった「WOWOWオリジナルドラマ”ブカツ道”より『パシュっとな!』」は、成海璃子さん出演の青春ドラマで、当映画祭「NEO JAPAN プログラム(日本人監督奨励プログラム)」の特別招待作品として上映されます。そして特別賞のプレゼンターには、映画祭のスペシャルインフォメーションガールを務める、美女モ(美女暦モデル)の皆さんが登壇し、授賞式を盛り上げました。

映画祭の上映スケジュール詳細は、オフィシャルサイト(<http://www.shortshorts.org/2010/>)をご覧ください。

2010年「話題賞」



◆アジアインターナショナル部門

『愉快なお手伝い』

ク・ヘソン監督/韓国/14:00/ドラマ

牧師と修道女は望む人々へ「安楽死」という選択を与えてきた。そんな二人の下にソンジンという一人の男が教会を訪れる。彼は自分の「最期の日」を延期して欲しいと言ってきた…。

ク・ヘソン

1984年生まれ。ソウル芸術大学放送映像科卒業。「19歳の純情」のヤン・グッカ役で注目を浴び、韓国版『花より男子』等TVドラマを中心に活躍。本作品で監督デビューを飾り、2010年制作の初長編映画『妖術』では監督・脚本・音楽・出演を手がける。



2010年「特別賞」



◆NEO JAPAN プログラム

WOWOWオリジナルドラマ”ブカツ道”より『パシュっとな!』

沢村一樹監督/日本/18:00/ドラマ

突然現れた妙な神様(ミッキー・カーチス)から「当たらば誰でも好きになる矢」を手に入れた恋に不器用な弓道の天才・ハル(成海璃子)が、親友のノリ(朝倉あき)を引き連れ、好きな男の子(田辺季正)を狙って学校中を走り回る。タイムリミットまであとわずか!

沢村一樹

1967年生まれ。鹿児島県出身。俳優。WOWOWの短編ドラマの本作で、かねてから熱望していた初メガホンを取る。出演最新作にドラマ「警視庁失踪人捜査課」(主演:高城賢吾役)、映画「十三人の刺客」など。



## 「話題賞」プレゼンター



## 阿部力 (あべ つよし)

1982年生まれ。中国と日本のクォーター、9歳で日本へ移住し、その後帰化。現在の国籍は日本。2000年、18歳で単身北京へ渡り、北京電影学院入学。在学中に映画『人民公廁 (PUBLIC TOILET)』主演に抜擢される。

2004年には本名の阿部力として日本でも活動を開始。中国語圏での芸名を李振冬(リー・ゼンドン)に。現在は日本を拠点に活動しており、2005年から美作あきら役で「花より男子」シリーズに出演。放送中の月9ドラマ「月の恋人～Moon Lovers～」では、リン・チーリンが演じるヒロイン、シュウメイの親友ミン役で出演。

2010年7月にはPARCO劇場にて青木豪演出、マート・クローリー作の初主演舞台、「真夜中のパーティ」が始まるほか、小栗旬初監督作品となる映画『シュアリー・サムデイ』(配給：松竹)が公開される。さらに10月には中田秀夫監督によるホリプロ創業50周年記念映画『インシテミル』(配給：ワーナー・ブラザーズ映画)が公開。

## ◆話題賞 (Spotlight Award)

ショートフィルムにて世間より多くの注目を浴び、多くの影響と普及に貢献された方に、映画祭実行事務局より贈られる賞。2003年新設。

## 話題賞 歴代受賞者

2009年 土屋アンナ監督

2008年 オムニバスショート「R246 STORY」  
(浅野忠信監督、中村獅童監督、須藤元気監督、VERBAL [m-flo] 監督、  
ILMARI [RIP SLYME] 監督、ユースケ・サンタマリア監督)

2007年 松田聖子(歌手)、ケイン・コスギ(俳優)

2006年 ゴリ [ガレッジセール] 監督

2005年 桃井かおり(監督/女優)

2004年 小雪(女優)

2003年 椎名林檎(ミュージシャン)

## ◆特別賞 (Special Mention Award)

ショートフィルムを通じて、メディア、映像業界において特別な貢献をされた方に映画祭実行事務局より贈られる賞。2010年新設。

映画祭公式サイト：<http://www.shortshorts.org/2010/>

Twitter：[http://twitter.com/s\\_s\\_f\\_f](http://twitter.com/s_s_f_f)

## ▼ショートショート フィルムフェスティバル &amp; アジア について

米国アカデミー賞公認、日本発アジア最大級の国際短編映画祭。

1999年、東京原宿で映像王国ハリウッドに集まったショートフィルムを紹介する映画祭としてスタートして以来、有名監督の初期短編映画や、若手映像作家が産み出した作品など、これまで700本以上に及ぶ作品が、世界50以上の国や地域から日本に紹介されています。

2004年には、米国アカデミー賞の公認映画祭として認定を受け、本映画祭でグランプリを獲得した作品は、次年度米国アカデミー賞のノミネート対象となります。また、映画祭開催初年度から毎年ジョージ・ルーカス監督に応援いただくなど、世界中の映画人から愛される映画祭として成長を遂げてきました。年々規模が大きくなる本映画祭は、現在ではアジア最大級、日本で唯一の米国アカデミー賞公認短編映画祭として、明日の映像文化を担う若手映像作家、監督たちの世界へつながるゲートウェイを創出しています。(www.shortshorts.org)



## ■一般のお問い合わせ先

ショートショート フィルムフェスティバル & アジア (略称：SSFF & ASIA) 事務局

TEL：03-5474-8844

■報道関係の皆様からのお問い合わせ先 (作品写真紙焼き・ポジ、作品VTRその他の資料の貸出等もお申し付け下さい)

<ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2010 PR事務局>

株式会社スパイスコミュニケーションズ(内) 担当：渡辺、浅野

TEL：03-6230-0519 FAX：03-6230-0524 e-mail：watanabe@spice-japan.com